

資料3

科学技術・学術審議会
学術分科会（第84回）
令和3年9月2日

地域の中核となる大学の振興について



令和3年9月2日



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,
SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN

第6期科学技術・イノベーション基本計画（抄）

第2章 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策

2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化

(3) 大学改革の促進と戦略的経営に向けた機能拡張

(b)あるべき姿とその実現に向けた方向性

不確実性の高い社会を豊かな知識基盤を活用することで乗り切るため、今後、**全ての大学が同一のあるべき姿を目指すのではなく、個々の強みを伸ばし、各大学にふさわしいミッションを明確化することで、多様な大学群の形成を目指す**。これにより、人々は大学が提供する教育研究の内容や環境などの付加価値そのもので大学を選択することが可能となり、大学が、多様な価値観に基づく個人の自己実現を後押しし、人々の人生や生活を豊かにするとともに、時代の変化や組織・個人のニーズに合わせて人材が自由に流動することで、大学発の新たな社会変革を次々と起こしていく。同時に、多様化する大学の中で、世界と伍する研究大学のより一層の成長が促進され、卓越した研究力の強化の実現を目指す。


（中略）

その際、世界と伍する研究大学と地方創生のハブになる大学¹⁶⁵では、そのミッションの違いから、関係するステークホルダーや財政構造、国との関係や最適な経営システムも必然的に相違している。特に前者では、強靱なガバナンス体制を実現するための大胆な大学改革が行われ、世界レベルの研究環境や給与水準を実現するための民間資金の大幅な拡大、新たに創設する大学ファンドによる支援、大学の自主的な基金の充実などによって、堅固な財政基盤の形成を図る。

他方、**地方創生のハブを担うべき大学**では、**地域産業を支える社会人の受入れの拡大、最新の知識・技術の活用や異分野との人材のマッチングによるイノベーションの創出、地域産業における生産性向上の支援、若手研究者が経験を積むことができるポストの確保・環境整備**といった取組を進め、これにより、**地域や企業から投資を呼び込み、地域と大学の発展につなげるエコシステムの形成を図る**。また、**複数の国公立大学や研究所で連携するような活動を進める**。

165 人口減少や雇用創出、デジタル人材の育成など地方の課題解決をリードする大学。

問題意識

- 地域においては、**特定分野に強みのある大学も存在。個々の大学を取り巻く環境を踏まえつつ、魅力的な特色を持つ大学づくりを目指し、地域経済社会発展の中核的な役割を果たすことが重要。**
 - しかし、その**特色や強みを活かす形で力を十分に発揮できていないのが現状と認識**。その背景の一部には、少ない研究時間や進捗する研究装置の老朽化、マネジメント等の様々な課題もあると考えられる。
- 
- このような現状の要因分析や事業の効果を検証の上、下記の観点を重視し、既存事業の見直しも含め、実力と意欲のある大学を伸ばす施策を展開することが必要。
 - ①**それぞれの大学の特徴を一層強くする方向に促し、特定分野の高い研究力をさらに伸ばすこと**
 - ②**人材育成や産学連携活動を通じて地域の経済社会、ひいては日本や世界の課題解決に貢献すること**
 - その際、これらの効果的な実施を支える**人材・資金・ガバナンス等の大学改革が着実に実行されることが必要。**

今後の方向性

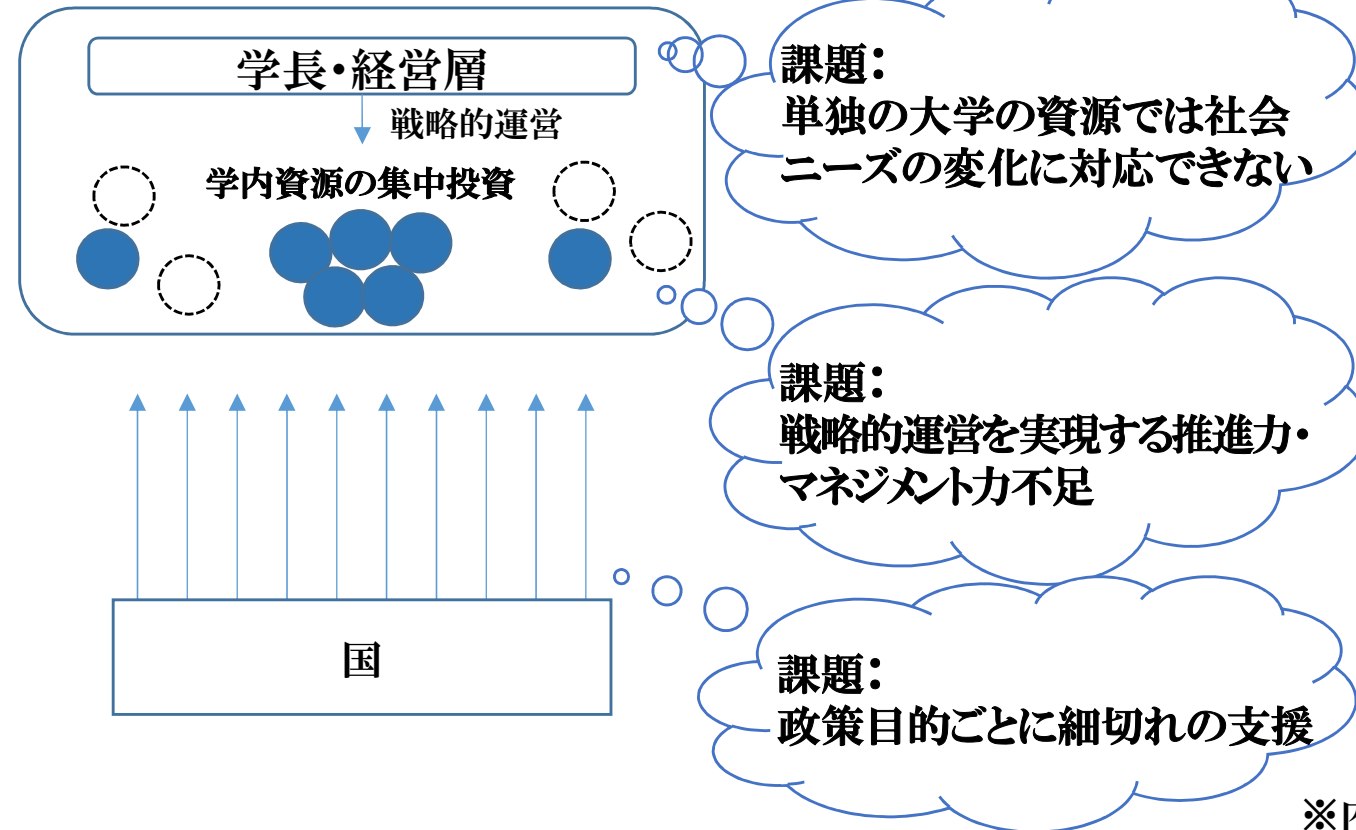
- 人材育成・研究力向上等にしっかり取り組む実力と意欲のある地域の中核となるような大学に対して、共創拠点としての整備、地域が求める人材育成や地域の課題解決に繋がる研究開発、強みを生かした多様な研究活動が、大学改革と一体として、さらに後押しされるよう推進。
- より多くの大学が、強みを活かして、健康医療・農林水産・エネルギー・ビッグデータ/AI等の重要施策を含め、**多様な分野のイノベーションの推進に力を発揮し、地域の社会経済にとどまらず、日本や世界の課題解決にも貢献するよう、政府が総力を挙げて実力と意欲を持つ地域の中核となっていく大学をサポート。**
- 具体的には、
 - ①内閣府（科学技術・イノベーション事務局）においては、上記を具体化する仕組みを検討。
 - ②文科省及び内閣府（地方創生推進事務局）の連携推進など、地域の中核となるような大学の振興に向けて、より一層施策効果を高める方向。
- **今年度中に、上記による地域の中核となる大学の機能強化に向けたパッケージを策定。**

地域の中核となる特色のある大学の振興 課題と対応の方向性

「知と人材の集積拠点」である多様な大学の力を最大限活用して社会変革を推進していくため、強み・特色をいかして地域発の人材育成や研究成果、イノベーションの創出に取り組む、**地域の大学の戦略的運営**の実現を総合的に後押し。

- ✓ 国公立の別を問わず、地域の期待や**自大学の強み**を踏まえた**目指すべき理想像（ビジョン）**を掲げ、その**実現を目指した運営**
- ✓ 「**アカデミックな価値の創出**」と「**地域の期待に応える価値の創出**」にどのように重点を置くか判断し、学内資源（ヒト・モノ・カネ）の**メリハリある配分**

特色の発揮に向けて改革を進める地域の大学



パッケージでの対応案（令和4年度～）

- ① 経営層・URA等大学マネジメント人材の育成・確保
- ② 戦略的運営に伴走支援する政府の体制の構築
- ③ 外部関係者との対話を深め、強みを伸ばす大学の改革を支援する個別事業の大括り化、メニュー化
- ④ 地域連携プラットフォーム等も活用し、複数大学で連携して対応する取組を支援

地域の中核となる大学の振興の必要性について

統合イノベーション戦略推進会議（第10回）加藤官房長官御発言（抄）（令和3年6月11日）

- 第三に、我が国の大学には健康医療やエネルギーなど、人類社会の抱える課題解決に積極的に貢献し、世界からも注目される成果を挙げているところが少なからずあります。このような大学の努力を成果に結びつけるためには、文部科学省だけではなく、政策課題を抱える各府省の全面的協力が不可欠であります。科学技術担当大臣・文部科学大臣は、関係大臣と連携の上、**年度内に、地域の中核となる大学の持つ可能性を最大限引き出す地域の中核となる大学の振興パッケージを策定**してください。

経済財政運営と改革の基本方針2021（抄）（令和3年6月18日閣議決定）

第2章 次なる時代をリードする新たな成長の源泉 ～4つの原動力と基盤づくり～

3. 日本全体を元気にする活力ある地方創り～新たな地方創生の展開と分散型国づくり～

（7）スマートシティを軸にした多核連携の加速

地域の知と人材が集積する地方大学の力を強化する政策パッケージを本年度中に策定し、STEAM教育を中心とした人材育成や研究開発により地方の産業創出を推進する。東京圏の大学の地方サテライトキャンパスの設置を促進する。専門高校・専修学校において、地域の産業界等との連携・協働による実践的な職業教育を推進する。

統合イノベーション戦略2021（抄）（令和3年6月18日閣議決定）

第2章 2. 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化

（3）大学改革の促進と戦略的経営に向けた機能拡張

④. 大学の基盤を支える公的資金とガバナンスの多様化

＜今後の取組方針＞

- 地域の活性化や我が国全体の研究力強化に資するため、**大学の強化に向けた地方大学の振興パッケージを策定し、共創拠点としての地方大学を整備するとともに、地域が求める人材育成や地域の課題解決に繋がる研究開発、強みを生かした多様な研究活動を推進**【文】

- 地域の中核大学が、“特色ある強み”を十分に発揮し、社会変革を牽引する取組を強力に支援
- 実力と意欲を持つ大学の個々の力を強化するのみならず、先進的な地域間の連携促進や、社会実装を加速する制度改革などと併せて、**政府が総力を挙げてサポート**
- 地域社会の変革のみならず、我が国の産業競争力強化やグローバル課題の解決にも大きく貢献

総合支援パッケージ (イメージ)

地域の中核大学の機能を抜本強化（**大学が変わる**）⇔ 社会全体で大学を最大活用（**社会が変わる**）
【**府省間の事業連携を通じて、一体的な支援を抜本強化**】

大学との連携による地域の
社会変革を先導・横展開
【**先進地域産学官トップ連携協議
会（仮）の創設**】



大学の価値創造をいち早く
社会変革へ転換
【**特区の活用や認定制度など新た
な仕組みの創設**】

府省連携
による
一丸サポート

地域の大学の力を**抜本強化**し、地域が**最大活用**
×
大学×自治体×産業界の先導的リーダーの**成功体験から学び**
×
大学の価値創造を即座に**社会変革に転換できる社会へ**

イノベーション
の社会実装を
加速する
構造改革

||
『地域の中核大学』を、**地域社会の成長の駆動力**へと転換



これまで政府として、大学の自主的経営を促す取組を進めてまいりましたが、いまだ、日本と世界の大学には、経営改革や資金獲得の面で大きな差があります。このままでは、日本はイノベーションの世界的競争に劣後しかねません。

(中略)

また、**大学の機能強化を地方の活性化につなげることが重要**です。今日お話を伺った、弘前（ひろさき）大学の健康データを活用した取組のように、**地域の中核大学が、特色ある研究成果を基に新しい産業を生み出せるように、必要な政策パッケージを今年度中に取りまとめます。**

大学を強くすることは、人や産業を育て、そして、豊かな未来を作る基盤です。**関係閣僚においては、本日晒された施策を速やかに実現することができるようをお願いいたします。**

基本的考え方

「グローバルな課題への対応」と「国内の社会構造の改革」に向けて、「**知と人材の集積拠点**」である**多様な大学等の力を伸ばしつつ、最大限活用**。

特定分野の高い研究力の強化、人材育成や産学連携活動を通じた地域の経済社会、日本や世界の課題解決への貢献のために、**地域の中核となる大学が強みや特色を最大限に活かし、発展できるような大学のミッション・ビジョンに基づく戦略的運営の実現**を推進。

社会実装

人材育成

ビジョン主導の 戦略的運営に 向けた支援

研究

産学官連携拠点、
スタートアップ創出支援、
大学マネジメント人材の育成・確保策の充実

地域の大学群と産業界・自治体と
一体で、地域ニーズを踏まえた質の
高い人材育成モデルへの転換支援

研究で独自色を発揮する取組や
大学改革と連動した研究環境改善を推進

大学や研究者の多様性を活かした、強みや特色を
伸ばす研究環境の整備

大学のミッション実現を下支えするための基盤的経費の改善・充実

◆ 共創の場形成支援

17,474百万円 (13,734百万円)

◆ 大学発新産業創出プログラム (START) 大学・エコシステム推進型

2,378百万円 (674百万円)

◆ 地域活性化人材育成事業

2,820百万円 (新規)

- 世界で活躍できる研究者戦略育成事業
- 地域の大学等の研究者を支える研究基盤の整備・活用
- 地域の優れた研究者の研究環境改善や研究拠点の形成
- ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ 等

- 国立大学経営改革促進事業
- 国立大学法人等施設整備費補助金
- 国立大学法人運営費交付金・私立大学等経常費補助金 等

目指す姿

関係府省とも
連携し、大学の
力を伸ばしつつ、
最大限活用
することによる、
「グローバルな
課題への対応」
と「国内の社会
構造の改革」の
実現

これらの支援による大学の取組について、大学のミッションに基づくビジョンの実現に向けた位置づけと進捗を事業間で共有し、伴走支援する仕組みを構築。中でも、社会実装を志向し成果を上げているポテンシャルの高い取組は関係府省と連携し、大学の価値創造を社会発展・変革に転換。7